



# もいわ南麓

札幌市立藻岩中学校  
学校だより NO. 10

令和元年 11月8日

<http://www.moiwa-j.sapporo-c.ed.jp/>

## 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成31年4月18日(木)に、国語・数学に加え今年度より英語と英語の「話すこと」に関して全国の小学6年生、中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。すでに全国や各教育委員会でのまとめが公表されておりますが、このほど本校においても教科に関する調査(国語・数学・英語)の結果分析と改善の方向のまとめができましたのでご報告いたします。この報告様式につきましては、札幌市教育委員会の指導のもとに作成しており、具体的な数値での公表ではなく以下の表現であることをお知らせいたします。

<b>全国平均と比べ</b> 「+3.1ポイント以上」 ⇒ 上回っている 「全国平均～+3.0ポイント」 ⇒ ほぼ同程度であるが、やや上回る 「全国平均(-0.1～+0.1)」 ⇒ ほぼ同程度 「-3.0ポイント～全国平均」 ⇒ ほぼ同程度であるが、やや下回る 「-3.1ポイント以下」 ⇒ 下回っている	<b>例) 【正答の割合(%)】</b> *全国平均72%・本校76% +4ポイント ⇒ 上回っている *全国平均54%・本校52% -2ポイント ⇒ ほぼ同程度であるがやや下回る
---	--

### < 国語 におけるおおまかな概要 >

分類	問題数	区分	調査結果の概要
評価の観点	3	国語への関心・意欲・態度	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
	3	話す・聞く能力	・上回っている
	2	書く能力	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
	3	読む能力	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
	2	言語についての知識・理解・技能	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
問題形式別	6	選択式	・上回っている
	1	短答式	・下回っている
	3	記述式	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
本校の傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の観点別に見ると、すべての観点において全国平均を上回っています。</li> <li>・問題形式別に見ると、短答式の問題において全国平均を下回っています。問題数が1問ではありましたが知識・理解・技能の難易度の高い問題であった点から判断して、問題文章を理解して指示に従って書くことを苦手としていると言えます。</li> </ul>		
<b>▼今回の調査における課題と改善の方向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒質問調査の中で国語の学習に関する質問に対して肯定的な回答の割合が高く、意欲的に国語の学習に取り組んでいる姿が伺えます。また、読書や新聞への興味も高く、学んだ力の活用や自分の考えを表現しよとする取組に肯定的な回答の割合が高くなっていることから、今年度は国語の結果については顕著な傾向がなく、良い結果だったと言えます。但し、難易度の高い問題の正答率が全国平均に比べて低く、無回答率が高いことから、諦めず挑戦する姿勢の育成が学校生活全般において必要と考えます</li> </ul>			

### < 数学 におけるおおまかな概要 >

分類	問題数	区分	調査結果の概要
学習指導要領の領域別	5	数と式	・上回っている
	4	図形	・上回っている
	3	関数	・上回っている
	4	資料の活用	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
評価の観点別	8	数学的な見方や考え方	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
	3	数学的な技能	・上回っている
	5	数量や図形などについての知識・理解	・上回っている
問題形式別	5	選択式	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
	7	短答式	・上回っている
	4	記述式	・ほぼ同程度であるが、やや上回る

<b>本校の傾向</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学においては、領域別・観点別・問題形式別とすべての分類において全国平均を上回っています。</li> <li>・特に数学的な技能や知識において特に良い結果となっていますが、数学的な見方や考え方、記述式の問題の結果が校内の他の結果と比較したとき、もう一歩なことから思考力を要する問題をやや苦手としていると言えます。</li> </ul>
<p>▼今回の調査における課題と改善の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の結果においても顕著な傾向はなく、正答率もすべて全国平均を上回っていることから、非常に良い学習状況にあると言えます。しいて言えば、特に学年末に学習する題材の知識や技能の定着がもう一歩ですので、学習進度に気を配りつつ、活用問題において、「自ら考えて解く」ことも大切ですが、ある程度の予測やパターンの判断は可能ですので、知識をベースにして考える取組や、課題を整理し、解決のプランを立てる取り組みを身につけさせていきたいと考えます。</li> </ul>	

< 英語 におけるおおまかな概要 >

分類	問題数	区分	調査結果の概要
学習指導要領の領域	7	聞くこと	・上回っている
	6	読むこと	・上回っている
	8	書くこと	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
観点別	1	外国語表現の能力	・ほぼ同程度であるが、やや下回る
	6	外国語理解の能力	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
	14	言語や文化についての知識・理解	・上回っている
問題形式別	13	選択式	・上回っている
	5	短答式	・ほぼ同程度であるが、やや上回る
	3	記述式	・ほぼ同程度であるが、やや下回る

< 英語「話すこと」 におけるおおまかな概要 >

分類	問題数	区分	調査結果の概要
学習指導要領の領域	5	話すこと	・ほぼ同程度であるが、やや下回る
観点別	2	外国語表現の能力	・ほぼ同程度であるが、やや下回る
	3	言語や文化についての知識・理解	・下回っている
問題形式別	3	短答式	・下回っている
	2	記述式	・ほぼ同程度であるが、やや下回る

<b>本校の傾向</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語においては、筆記の検査、領域別で言えば聞くこと・読むこと・書くことについてはすべて国平均を上回っています。但し、問題形式別において記述式が僅かながら全国平均を下回っています。</li> <li>・「話すこと」についての検査（コンピュータ室でパソコン利用して行われた録音での検査）の結果においては全国平均をやや下回ってはいますが、本校の傾向というよりは札幌を含めた北海道全体の傾向と言えます。</li> </ul>
<p>▼今回の調査における課題と改善の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の結果においても顕著な傾向はなく、「話すこと」以外の領域において全国平均を上回っていることから、良い学習状況にあると言えます。記述式の問題については、「自分の考え」を英語で書く問題であったので、書く力ではなく、「話すこと」に対する改善と同様な対応が必要と考えます。</li> <li>・「話すこと」については、初めての取組であり不慣れだったこともあります。基本的に英語で「話すこと」に対するスキルは低いと言えます。現在の高校入試に「話すこと」の検査がなく、英語で会話を行う場面が少ないことが原因と考えられます。授業でのALTの活用はもちろんですが、英語でのコミュニケーションを多く取り入れた授業実践が必要と考えます。</li> </ul>	

◇今年度の結果を踏まえ、生徒とのコミュニケーションを深めながら、より一層生徒に寄り添った形の学習活動を展開することにより学力の向上に努めていきたいと思っております。本校では、今後も機会あるごとに保護者の皆様にとり組む趣旨を説明し、理解を深めていただけるように努力してまいります。各ご家庭におかれましてもご協力をよろしくお願いいたします。

また、学校だよりに関するお問い合わせは（教頭：下川 TEL 571-6039）までお願い致します。